

エコアクション 21



環境活動レポート

対象期間 2016年4月1日～2017年3月31日

EARTH WING



有限会社
A・Iクリーンサービス

作成日 2017年 5月 23日(第10期)

有限会社 **アースウイング**

有限会社 **A・Iクリーンサービス**

目 次

1.環境方針	3 ページ
2.事業の概要	4 ページ
3.活動状況	8 ページ
(1) 組織図	8 ページ
(2) 環境目標とその実績	9 ページ
(3) 主要な活動計画の内容	12 ページ
(4) 環境活動の取り組み評価・次年度の取組	16 ページ
・代表者による取組結果評価他	
(5) 環境奉仕活動	17 ページ
(6) 一般廃棄物（資源ごみ）の処理の流れ	18 ページ
(7) 環境コミュニケーション	19 ページ
(8) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び	
評価の結果並びに違反、訴訟などの有無	19 ページ

環境方針

＜基本理念＞

有限会社アースウイング及び有限会社A・Iクリーンサービスは、より快適な地域環境を常に創造しつつ、地域に暮らす人々の身近な生活環境を守り次世代へ継承することを企業の使命とし、積極的な創意工夫と行動力をもって循環型社会構築へ貢献する企業活動を推進する。

＜行動指針＞

有限会社アースウイング及び有限会社A・Iクリーンサービスは、自ら行なう全ての事業活動を通して、地域環境の保全と向上を目指し継承していく重要性を認識し、全社員で下記の指針を履行します。

1. 事業活動に係わる環境関連法規、条例等を誠実に遵守し、適正業務の推進とともに地域環境の保全と向上に取り組めます。
2. 環境改善目標並びに自主基準を定め、定期的な見直しを行い継続的改善に努め管理向上に取り組めます。
3. 具体的な取組として、次に掲げる項目に取り組めます。
 - ① 地球温暖化防止のため省エネルギーに努めます。
 - ② 循環型社会に向け、廃棄物の4R『リデュース(削減)・リユース(再利用)・リサイクル(再資源化)・リフューズ(拒否)』活動に取り組めます。
 - ③ 受託した一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬において環境配慮をおこないます。
 - ④ 使用する化学物質については適正な管理を行います。
 - ⑤ 環境に配慮した施工、メンテナンスを行います。
 - ⑥ 事務用品等の調達・購買では、グリーン購入及び再生利用に取り組めます。
 - ⑦ 全員で5S活動(整理・整頓・清掃・清潔・躰)に取組み、快適で働きやすい職場づくりに取り組めます。
4. この環境方針に則り、全社員一人ひとりが、日々考え行動します。

平成27年 4月 1日

有 限 会 社 アースウイング
代表取締役 岡 崎 元 紀

事業の概要



会社概要

■ 社 名	有限会社 アースウイング
■ 創 業	昭和47年3月25日(沼隈衛生有限会社) 平成3年4月6日(社名変更 有限会社アースウイングとなる)
■ 資 本 金	340万円
■ 売 上 高	3億8340万円(平成28年度決算)※(有)アースウイング及び(有)A・Iクリーンサービスの合算での金額
■ 従 業 員 数	32名(定時社員含む)
■ 事 業 内 容	廃棄物収集運搬(一般・産廃) 資源リサイクル 浄化槽保守点検及び清掃 高圧洗浄工事 仮設トイレリース リフォーム全般 下水道管渠清掃業及びカメラ調査 建設(土木工事、とび・土工工事、管工事、しゅんせつ工事、水道施設工事)※ 福山市指定給水装置工事事業者 福山市下水道排水設備指定工事店 ディスポーザー排水処理システム維持管理業者 社団法人広島県浄化槽維持管理協会 検査補助員登録事業所 衛生関連商品の販売(水回り用品から住宅設備機器) ※建設業は下水道管渠清掃業において必要とされ、許可を取得
■ 本 社	〒720-0311 広島県福山市沼隈町大字草深 2785 番地 132 TEL (084) 987-0084 FAX (084) 987-3318
■ 役 員	代表取締役 岡崎 元紀 取締役 村上 春朝
■ 取 引 銀 行	広島銀行千年支店、中国銀行千年支店、備後信用組合千年支店 もみじ銀行、福山市農業協同組合、広島県信用漁業協同組合連合会

沿 革	昭和47年	沼隈衛生有限会社設立 し尿等一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃業を開始
	昭和54年	浄化槽保守点検業を開始
	昭和58年	代表取締役岡崎元紀が就任
	平成 元年	産業廃棄物収集運搬業を開始
	平成 3年	社名変更により有限会社アースウイングとなる
	平成 8年	広島県へ廃棄物再生事業者として登録
	平成11年	浄化槽工事事業者として登録
	平成15年	本社移転 福山市下水道排水設備指定工事店の指定を受ける
	平成16年	一般建設業の許可取得 ディスポーザ排水処理施設システム維持管理業者登録
	平成17年	市町村合併に伴い福山市委託業者となる(2月) 事業系一般廃棄物部門を分社化し 有限会社 A・I クリーンサービス設立(2月)
	平成19年	エコアクション21認証登録
	平成20年	自社ホームページ開設
	平成26年	有限会社A・Iグリーンサービス エコアクション 21 取組導入

■ 環境保全関係の責任者及び担当者の連絡先

環境管理責任者	(有)アースウイング社 長	岡崎 元紀
環境事務局担当	経 理 ・ 総 務 部	池永 久美子
	電話 : (084) 987 - 0084	FAX : (084) 987 - 3318

■ 事業規模

1) 許認可業務

有限会社 アースウイング

表-1

浄化槽保守点検業者	福 山 市	福00第004号
浄化槽保守点検業者	広 島 県	県60第0923号
浄化槽清掃業許可	福 山 市	第1013号
一般廃棄物(液状)収集運搬業許可	福 山 市	第217号
一般建設業許可	広 島 県	県知事許可(般-26)第32729号 土木工事業 とび・土工工事業 管工事業 水道施設工事業 石工事業 鋼構造物工事業 しゅんせつ工事業 ほ装工事業
福山市指定給水装置工事事業者	福 山 市	水道局指定工事店
福山市下水道排水設備指定工事店	福 山 市	福山市指令庶第 20 号第260
ディスポーザ排水処理システム維持管理業者		第04011058
廃棄物再生事業者	広 島 県	広島県号第 09006 号
固形状一般廃棄物収集運搬業務	福 山 市	委託契約
検査補助員登録事業所		広浄協 事-010

有限会社 A・Iグリーンサービス

一般廃棄物収集運搬業許可	福 山 市	第 218 号
--------------	-------	---------

有限会社アースウイング産業廃棄物収集運搬に関して

表—2

管轄	許可番号	事業範囲	許可年月日	許可期限
広島県	第 03407052170 号	<事業の区分> 収集運搬(積替え・保管は含まない) <産業廃棄物の種類> 燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)、陶磁器くず、鋳さい及びがれき類(これらのうち廃プリント配線板、廃ブラウン管、鉛蓄電池の電極、鉛製の管又は板、廃石膏ボード及び廃容器包装を含み、自動車等破砕物、判定基準に適合しないもの及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)	平成25年 1月27日	平成30年 1月26日
福山市	第 09110052170 号	<事業の区分> 収集運搬(積替え・保管を含む。) <産業廃棄物の種類> [積替え・保管を含む] 廃油、廃プラスチック類(廃プリント配線板及び廃容器包装を含み、自動車等破砕物を除く) 金属くず(廃プリント配線板、鉛蓄電池の電極、鉛製の管又は板及び廃容器包装を含み、自動車等破砕物を除く) [積替え・保管を含まない] 燃え殻(判定基準に適合しないものを除く)、汚泥(判定基準に適合しないものを除く)、廃酸、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残さ、ゴムくず、ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)、陶磁器くず(廃ブラウン管、廃石膏ボード及び廃容器包装を含み自動車等破砕物を除く。)、鋳さい、がれき類(これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く。)	平成25年 1月27日	平成30年 1月26日

有限会社A・Iクリーンサービス産業廃棄物収集運搬に関して

管轄	許可番号	事業範囲	許可年月日	許可期限
広島県	第 03407148738 号	<事業の区分> 収集運搬(積替え・保管は含まない) <産業廃棄物の種類> 廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残さ、金属くず(これらのうち廃プリント配線板、鉛製の管又は板および廃容器包装を含み、鉛蓄電池の電極、自動車等破砕物、石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)	平成26年 5月13日	平成31年 5月12日

2) 設備概要

表—3

一般廃棄物 車両		産業廃棄物 車両		浄化槽保守点検 車両	
糞 尿 車	7 台	塵 芥 車	1 台	軽四自動車	8 台
給 水 車	2 台	ダ ン プ 車	2 台	その他 車両	
委託業務 車両		吸引車(ダンパー)	1 台	社用車(軽四)	1 台
塵 芥 車	2 台	ヒアブ付ダンプ車	1 台	高圧洗浄車	2 台
ダ ン プ 車	2 台	脱着装置付コンテナ車	1 台	キャブオーバ	2 台
下水道関連 車両		検査測定車(カメラ車)	2 台	下水道更生管削孔ロボット 搭載車(工作車)	1 台
A・I クリーンサービス		脱着装置付コンテナ車	2 台	ダ ン プ 車	2 台
		塵 芥 車	5 台	深あおりダンプ	1 台
		ピックアップ(軽四貨物)	1 台	キャブオーバ	2 台

3) 産業廃棄物の積替え保管施設

表—4

産業廃棄物の種類	所 在 地	面積	保管上限
廃 油	広島県福山市沼隈町大字草深 2785 番地 132	12.3 m ²	1.8 m ³
廃プラスチック類	同 上	13.6 m ²	25.8 m ³
金 属 く ず	同 上	11.9 m ²	22.6 m ³

4) 推移状況

表—5

活 動 規 模	単位	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
アースウイング売上高	万円	25,656	26,589	27,992	29,492
A・I クリーンサービス売上高	万円	-	8,508	8,227	8,848
従 業 員 数	人	29	32	32	32
床 面 積	m ²	619.94	619.94	619.94	619.94

5) エコアクション 21 認証・登録範囲

認証・登録番号 0001737

認証・登録事業者 有限会社 アースウイング

広島県福山市沼隈町大字草深 2785-132

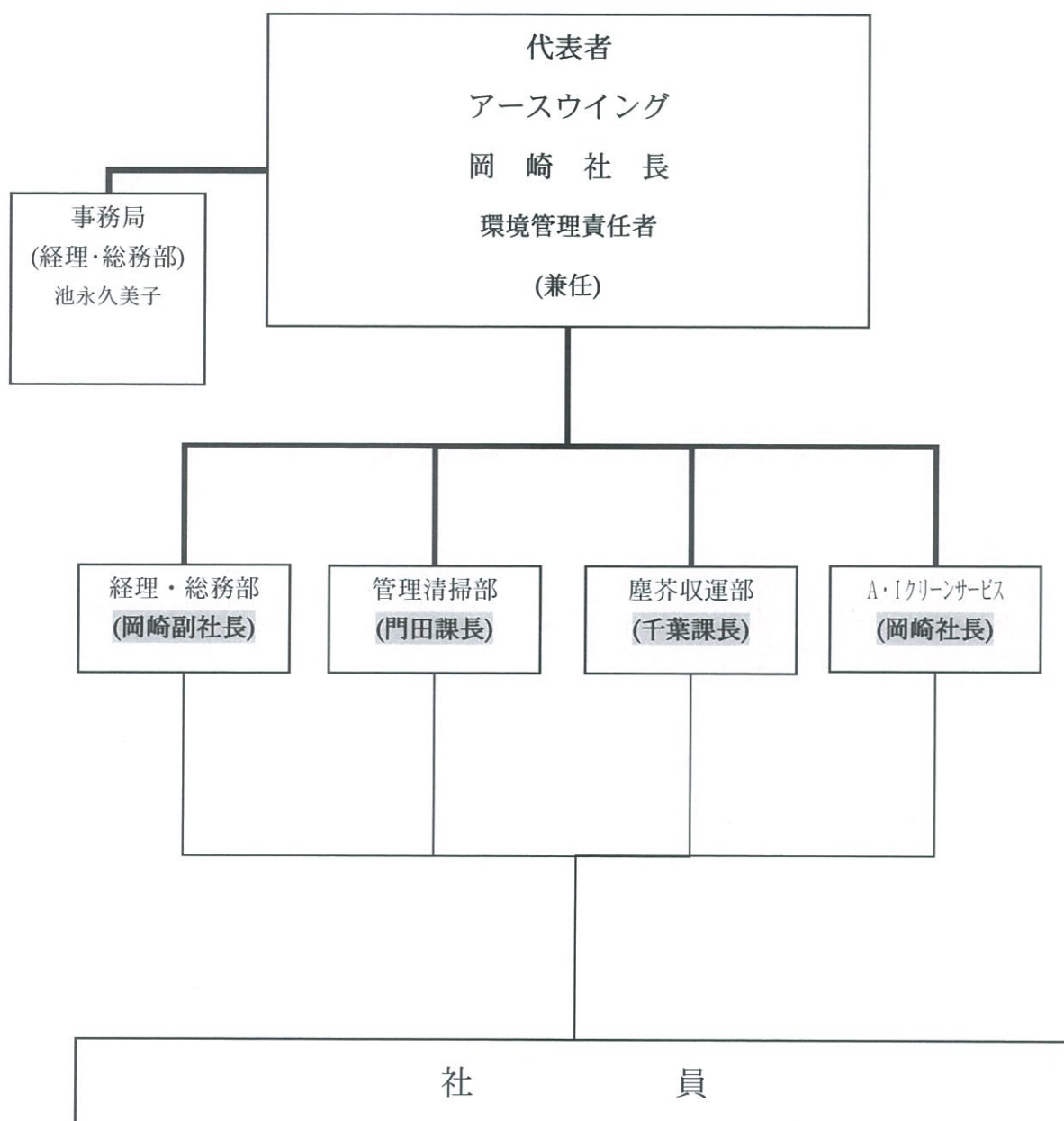
事業活動 一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物収集運搬

浄化槽保守点検・清掃及び定期検査、建設業、仮設トイレレンタル

対象事業所 本社、A・I クリーンサービス

活動状況

(1) 組織図



※内 アースウイング従業員 27名
 A・Iクリーンサービス従業員 5名
 合計 32名

強調文字は各部門長

(2) 環境目標とその実績

当社では、「エコアクション21 2004年版 環境経営システム・環境活動レポートガイドライン」を元に、2006年10月から活動を開始し、2010年4月よりはガイドライン2009年度版を元にし活動を継続しています。

1) 環境数値目標

① 使用量及び廃棄量削減目標(総量)

表—6

環境方針 (キーワード)	環境目標項目	単位	基準数値	2016 年度
省エネルギー	電力の省エネ	kwh	29,641	29,048 (▲2%)
	アースウイング 化石燃料削減(軽油)	リットル	34,506	33,816 (▲2%)
	アースウイング 化石燃料削減(ガソリン)	リットル	5,389	5,281 (▲2%)
	AIクリーンサービス 化石燃料削減(軽油)	リットル	37,510	37,135 (▲1%)
	AIクリーンサービス 化石燃料削減(ガソリン)	リットル	670	663 (▲1%)
	CO2 排出量(注)	Kg-CO2	224,640.06	221,146.44 (▲1%)
省資源	節水	m3	1,632	1,632 (現状維持)
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	kg	2,185	2,141 (▲2%)
グリーン購入	エコ商品の利用	品目	21	23
化学物質	化学物質使用量削減	2015 年 3 月より確認中(MSDS確認)		

(注)購入電力の排出係数は中国電力㈱の 0.728kg-CO2/kwh を使用。2017 年度よりは 0.700kg-CO2/kwh を使用。

※再生事業の増加及びA・Iクリーンサービスの車両の増加に伴い2016年度実績を踏まえて

2017年度より基準数値の改訂を下記の通り行っています。

環境方針 (キーワード)	環境目標項目	単位	基準数値	2017 年度	2018 年度
省エネルギー	電力の省エネ	kwh	29,693	29,396 (▲1%)	29,099 (▲2%)
	アースウイング 化石燃料削減(軽油)	リットル	34,506	33,471 (▲3%)	33,126 (▲4%)
	アースウイング 化石燃料削減(ガソリン)	リットル	5,389	5,227 (▲3%)	5,173 (▲4%)
	AIクリーンサービス 化石燃料削減(軽油)	リットル	37,510	36,760 (▲2%)	36,385 (▲3%)
	AIクリーンサービス 化石燃料削減(ガソリン)	リットル	950	941 (▲1%)	931 (▲2%)
	CO2 排出量(注)	Kg-CO2	224,496.57	222,251.61 (▲1%)	220,006.64 (▲2%)
省資源	節水	m3	1,598	1,598 (現状維持)	1,598 (現状維持)
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	kg	2,185	2,119 (▲3%)	2,098 (▲4%)
グリーン購入	エコ商品の利用	品目	21	24	25
化学物質	化学物質使用量削減	販売している薬品については現状維持で無駄な発注をしない			

② 指標(仕事量との対比)目標

表—7

	設定方式	2014年度実績平均値	2015年度実績平均値	2016年度目標
清 掃 課	汚泥搬出量 ÷使用燃料	0.470m ³ /ℓ	0.495m ³ /ℓ	0.471m ³ /ℓ
管 理 課	保守点検基数 ÷使用燃料	1.477基/ℓ	1.749基/ℓ	1.661基/ℓ
塵芥集運課	廃棄物搬出量 ÷使用燃料	2014年度実績平均値	2015年度実績平均値	2016年度目標
(一般廃棄物)		176.373kg/ℓ	168.553kg/ℓ	173.128kg/ℓ
(産業廃棄物)		140.298kg/ℓ	134.812kg/ℓ	123.459kg/ℓ
AIカーンサービス	廃棄物搬出量 ÷使用燃料	78.466kg/ℓ	81.205kg/ℓ	79.836kg/ℓ

③ 指標(売上との対比)目標

表—8

	設定方式	2014年度実績平均値	2015年度実績平均値	2016年度目標
清 掃 課	部 門 売 上 ÷使用燃料	5,717円/ℓ	5,874円/ℓ	5,600円/ℓ
管 理 課	部 門 売 上 ÷使用燃料	16,826円/ℓ	19,643円/ℓ	16,134円/ℓ
塵芥集運課	部 門 売 上 ÷使用燃料	2014年度実績平均値	2015年度実績平均値	2016年度目標
(一般廃棄物)		3,305円/ℓ	3,374円/ℓ	3,197円/ℓ
(産業廃棄物)		6,403円/ℓ	6,925円/ℓ	6,084円/ℓ
AIカーンサービス	部 門 売 上 ÷使用燃料	2,243円/ℓ	2,215円/ℓ	2,229円/ℓ

2) 活動実績 (2016年4月1日～2017年3月31日)

<受託>

表—9

	単位	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
一般廃棄物(液状)	m ³	8,965.186	8,686.090	8,724.640	8,073.657
一般廃棄物(固形)	t	2,586.630	2,490.810	2,428.850	2,355.410
収集運搬(産業廃棄物)	t	313.178	264.279	266.551	371.999
一般廃棄物(AIカーンサービス)	t	—	2,974.881	3,069.572	2,892.890

<再生事業>

リサイクル品目	単位	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
缶類	t	—	—	52.704	71.733
ペットボトル	t	—	—	15.900	21.200

<自社>

① 使用量及び廃棄量削減実績

表—10

環境目標		単位	目標値	実績値	目標との差異	評価
電力使用量		kWh	29,048.0	29,693.0	+645.0	×
化石燃料使用量	アースウイング 軽油	ℓ	33,816.0	33,484.3	-331.7	○
	アースウイング ガソリン	ℓ	5,281.0	5,044.7	-236.3	○
	AI割サービス 軽油	ℓ	37,135.0	34,174.1	-3,624.0	○
	AI割サービス ガソリン	ℓ	663.0	791.4	+128.4	×
CO2 排出量(合計)		Kg-CO2	221,146.44	209,182.56	-11,963.88	○
廃棄物搬出量		kg	2,141.0	2,067.0	-74.0	○
水使用量		m³	1,632	1,598	-34	○

② 指標(仕事量との対比)実績

表—11

部門(業種)		単位	目標値	実績平均値	目標との差異	評価
管理清掃部	し尿汲み取り 浄化槽清掃 産廃(汚泥)	m³/ℓ	0.471	0.459	-0.012	×
	浄化槽保守点検 仮設トイレリース	基/ℓ	1.661	1.641	-0.020	×
塵芥収運部	一般廃棄物	Kg/ℓ	173.128	169.878	-3.250	×
	産業廃棄物	Kg/ℓ	123.459	182.849	+59.392	○
AIクリーニングサービス	一般廃棄物	Kg/ℓ	79.836	84.770	+4.934	○

③ 指標(売上との対比)実績

表—12

部門(業種)		単位	目標値	実績平均値	目標との差異	達成率
管理清掃部	し尿汲み取り 浄化槽清掃 産廃(汚泥)	円/ℓ	5,600	6,207	+607	○
	浄化槽保守点検 仮設トイレリース	円/ℓ	16,134	18,860	+2,726	○
塵芥収運部	一般廃棄物	円/ℓ	3,197	3,446	+249	○
	産業廃棄物	円/ℓ	6,084	6,751	+667	○
AIクリーニングサービス	一般廃棄物	円/ℓ	2,229	2,617	+388	○

(3) 主要な活動計画の内容

2016年度 エコアクション21 取組項目書

平成28年5月18日改訂

電力の省エネ取組項目

【管理清掃部】

<事務所内外の節電>

- ① 作業に支障がない場合の照明は常にきっておく。
- ② 2階事務所は自然光を取り入れ、蛍光灯の節電を行う。
- ③ 作業者が不在になる場所は、蛍光灯・換気扇・冷暖房機器の電源をきる。
- ④ 残業時は、職場全体の照明は必要最小限とする。
- ⑤ 2階事務所のデスクトップパソコンディスプレイは使用する他は電源をきる。
- ⑥ 夏の冷房は 28℃設定、冬の暖房は 24℃設定により節電を行う

【塵芥収運部】・【A・I クリーンサービス】

<事務所内外の節電>

- ① 作業に支障がない場合の照明は常にきっておく。
- ② 2階事務所は自然光を取り入れ、蛍光灯の節電を行う。
- ③ 作業者が不在になる場所は、蛍光灯・換気扇・冷暖房機器の電源をきる。
- ④ 残業時は、職場全体の照明は必要最小限とする。
- ⑤ 2階事務所のデスクトップパソコンディスプレイは使用する他は電源をきる。
- ⑥ シュレッダーの使用は必要最低限とする
- ⑦ 2 階事務所の扉、窓を開けている時は空調を必ず停止する

【経理総務部】

<節電>

- ① 不用時の電源オフ(PC・プリンター・照明・無線・マイク・換気扇等)
- ② 不要な残業は控え、遅くても決められた時間までには退社(不要な照明は早めに切る)
- ③ 事務所掃除時に掃除機を使用する場合は必要最小限にし、電源の入れっぱなしはしない

<管理体制>

- ① エアコンの設定温度管理(室温計の活用)
- ② 窓の開閉を通じて室温調整を行う。
- ③ 2階事務所等の定期的な見回りをし、消し忘れを確認する。

<シュレッダー使用>

- ① 機密文書及び個人情報に限っての使用とする。

節水取組項目

【管理清掃部】

- ① 浄化槽の張り水及び洗浄車への張り水は雨水利用を行う。
- ② 車輛洗車は、濡拭きを行い使用水はバケツ2杯程度とする。

【塵芥収運部】・【A・I クリーンサービス】

- ① 洗車時及び手袋や長靴・合羽を洗う時などは水道をながしっぱなしにしない
- ② 場内清掃時は、掃き掃除を行った後に水を流す。

【経理総務部】

- ① 定期的な巡回(社内・トイレ手洗い及びトイレ)
- ② 昼食後の後片付けの際に水道をながしっぱなしにしない
- ③ 洗濯はまとめて行う。

化石燃料削減取組項目

【管理清掃部】

＜車両運転、作業時に関わるもの＞

- ① 急発進、急加速、空ふかし等はしない。
- ② 状況に応じたギアチェンジを行う。
- ③ 適正な積載量での運転を行う(過積載の禁止)
- ④ 作業後の不要なアイドリングを止める。
- ⑤ 信号待ちのアイドリングストップ
- ⑥ 法定速度を遵守する。

＜定期的な車両整備＞

- ① 定期的な車両整備(日常点検の徹底)
- ② 定期的なオイル交換
- ③ 計画的な車両整備の実施(車検/タイヤ交換など)
- ④ タイヤの空気圧を適正に保つ(燃料補給後に確認)

＜作業効率の向上＞

- ① 作業効率を考えた計画作業の継続実施

【塵芥収運部】・【A・I クリーンサービス】

＜車両運転、作業時に関わるもの＞

- ① 急発進、急加速、空ふかし等はしない。
- ② 早めのギアチェンジを行う。
- ③ 適正な積載量での運転を行う(過積載の禁止)
- ④ 作業後の不要なアイドリングを止める。
- ⑤ 信号待ちのアイドリングストップ
- ⑥ 法定速度を遵守する。

＜定期的な車両整備＞

- ⑦ 定期的な車両整備(日常点検の徹底)
- ⑧ 定期的なオイル交換
- ⑨ 計画的な車両整備の実施(車検/タイヤ交換など)
- ⑩ タイヤの空気圧を適正に保つ(燃料補給後に確認)

＜作業効率の向上＞

- ① 作業効率を考えた計画作業の継続実施
- ② チェックシートで決められている収集経路を必ず走行する

【経理総務部】

＜車両使用頻度の削減＞

- ① 口座振替/郵便振込の斡旋(集金業務の軽減)
- ② DM などの郵便物はメール便を活用する。

＜安全運転の実施＞

- ① 法定速度の遵守、急のつく運転の禁止(発信・加速・停車)

一般廃棄物分別取組項目

【管理清掃部】

<資源化の徹底>

- ① 廃棄物発生抑制に心掛ける。
- ② 使用済みコピー用紙の裏面を再利用する。
- ③ シュレッダー処理は機密文書及び個人情報に関わるものに限る。
- ④ 商品梱包などの箱や包装紙など、分別の徹底を図る。

<再利用の徹底>

- ① 仮設トイレ設置時に勾配調整を行う敷板は、梱包時の木材の余りなどを再利用する。
- ② 業務に関するウエスは再生品を利用し、可能な限り再利用する

【塵芥収運部】・【A・I クリーンサービス】

<資源化の徹底>

- ① 廃棄物発生抑制に心掛ける。
- ② 使用済みコピー用紙の裏面を再利用する。
- ③ シュレッダー処理は機密文書及び個人情報に関わるものに限る。
- ④ 商品梱包などの箱や包装紙など、分別の徹底を図る。

【経理総務部】

<紙類ゴミの削減>

- ① FAX の受信は、プレビューを活用し不要な印刷をしない
- ② インターネット等で得た資料については PDF 等を活用し、用紙削減にとりくむ
- ③ 廃棄の場合は、オフィス古紙及びシュレッダー処理とする

<その他のゴミの削減>

- ① 使用済みコピー用紙は裏紙として再利用する
- ② 冷水器コップはプラスチック製を使用する
- ③ 消耗品などは月 2 回の定期発注とし、梱包材をすくなくする

グリーン購入の実施

【管理清掃部】

- ① 仮設トイレ用のトイレトペーパーはエコ商品を優先して購入する。
- ② 事務用品については、エコ商品を優先して購入する。

【経理総務部】

- ① 事務用消耗品等の発注は、エコ商品を優先して購入する。
- ② 社内での使用物(名刺・伝票類・領収書・封筒など)は再生紙を基本とする。

産業廃棄物保管取組

【管理清掃部】【塵芥収運部】・【A・I クリーンサービス】

- ① 保管管理体制は、飛散や漏洩のないように廃棄物を保管管理する。
- ② 廃油・廃プラスチック類・金属くず以外の廃棄物は、保管管理しない。
- ③ 収集運搬時には、排出事業者と契約を締結し、業務にあたる。
- ④ 収集運搬にあたるときは、工程管理票(マニフェスト)を必ず使用する。
- ⑤ 自社から排出される産業廃棄物
 - ア) (再利用) 廃棄対象物の部品で再利用可能なものは、再利用していく。
 - イ) (分別) 有価物(金属類・廃プラ・紙類)の分別の徹底
 - ウ) (廃棄) 廃棄対象物は分別を行った後に、一定量ストックを行い処分する。
 - エ) (保管) 専用の保管場所に分別を行い、廃棄物が飛散・漏洩しないように保管管理する。

【経理総務部】

- ① 下記項目に留意し、帳簿関連資料を整備する。
 - ア) 収集運搬年月日
 - イ) 交付された管理票ごとに、管理票交付者の氏名又は名称、交付年月日及び交付番号
 - ウ) 受入先ごとの受入量
 - エ) 運搬方法及び運搬先ごとの運搬量
 - オ) 積替え保管を行う場合は、積替えまたは保管の場所ごとの搬出量
 - カ) 帳簿関連資料は1年毎に閉鎖し、5年間保存する。

5S活動

【全社】

- ① 場内及び保管場所の定期的な清掃を実施
- ② 作業車輛は、始業前点検を実施し作業にあたる。
- ③ 使用車輛は、定期的な車輛整備を実施する。
- ④ 週雌雄運搬容器、器具機材、使用車輛等は業務終了後に清掃を行う。
- ⑤ 事務機器周辺及びデスク周りは常に清潔にし、整理整頓を心がける。
- ⑥ 身だしなみには気をつける(朝礼時・身だしなみチェック)
- ⑦ 事務所内の定期的な清掃活動の実施

2017年度 エコアクション21 取組項目書

2016年度活動計画を継続する。

(4) 環境活動の取組評価、次年度の取組

取組期間 2016年4月1日 ~ 2017年3月31日

①環境管理責任者による評価

＜受託＞：産業廃棄物収集運搬量については今年度も福山市の受託業務による汚泥の量が増加し、前年を上回っています。しかし、多くの排出事業者が廃棄物削減に取り組んでいることを踏まえて、引き続き新規開拓が必要不可欠となってきています。

＜指標＞：売上との対比実績は目標達成できていますが、売上増加に伴う総量等の増加により、仕事量との対比実績については目標達成はできませんでした。基準値の見直しを行う必要があります。

＜自社＞

表—13

取組項目	取組の評価	次年度の取組
電力使用量	不在時のPC画面、その他電源OFFは、よく周知されている。 年間を通じて節電を行っている。	残業務の削減
化石燃料使用量	車両メンテナンスは計画的に進められており、法定速度の遵守、過積載禁止、不要なアイドリング禁止について年間で実施することが出来ている。	収集ルート等の定期的な見直し実施
CO2 排出量	年間を通じ作業の効率化等の取り組みを行い、CO2 削減が行われている。	継続
一般廃棄物排出量	年間を通じてリサイクルや裏紙使用の徹底等の取り組みが出来た	継続
水道使用量	施設全体での節水に取り組んでいる。	継続
グリーン購入の推進	よく周知されている。	継続

②代表者による評価

ア) 方針、目標、活動計画の達成状況

【見直し情報】

- ・ CO2、廃棄物排出量の削減、グリーン購入、CO2 排出量の削減、化石燃料使用量の削減、水道使用量削減については、ほぼ達成することが出来、特に化石燃料の削減については大きな成果がでている。
電力使用量の削減については H29 年度経営計画方針「働き方改革」などの取り組みを強化し、残業務の削減（残業時間の削減）に努めていく。

【代表者指示内容】

- ・ EA21 勉強会を実施して下さい。
- ・ 各項目の削減目標の削減目標の達成につとめてください。

イ) 環境経営システムの実施状況

【見直し情報】

- ・ 年に2回以上はテーマを絞りEA21 に対する勉強会を開催し、取組みのマネリ化とEA21 に関する理解浸透を図る必要があると思われる。

【代表者指示内容】

- ・ 年2回以上、各部署における EA21 に対する勉強会を実施してください。

ウ) 法律等の遵守状況

【見直し情報】

- ・ コンプライアンスは保たれている。

【代表者指示内容】

- ・ 道路交通法、廃棄物処理法関連法規に関する勉強会を実施すること。また、5S活動等、社内におけるマナー教育も併せて行ってください。

(5) 環境奉仕活動

※当社では毎月第2第4の木曜日に事務所周辺の道路を、午前8時より清掃活動を行っています。



1回の回収ゴミ

内海大橋方面

セブンイレブン

- ・ZAGZAG 薬局
- ・パレット
- ・ハローズ沼隈店
- ・ジュンテナー沼隈店
- ・ニチエ沼隈店
- ・コメ沼隈店

清掃活動状況



清掃活動状況



フジタ電機

うず潮

・お好み焼 コロ

・常石造船社宅

中野店

・小林治療院

千年橋

鉄バス車庫

・公衆トイレ

・三谷建材

・三谷産業

・三谷運輸

弊社(有)アースウイング

..... は清掃コースです

能登原・鞆方面

(6) 一般廃棄物(資源ごみ)の処理の流れ

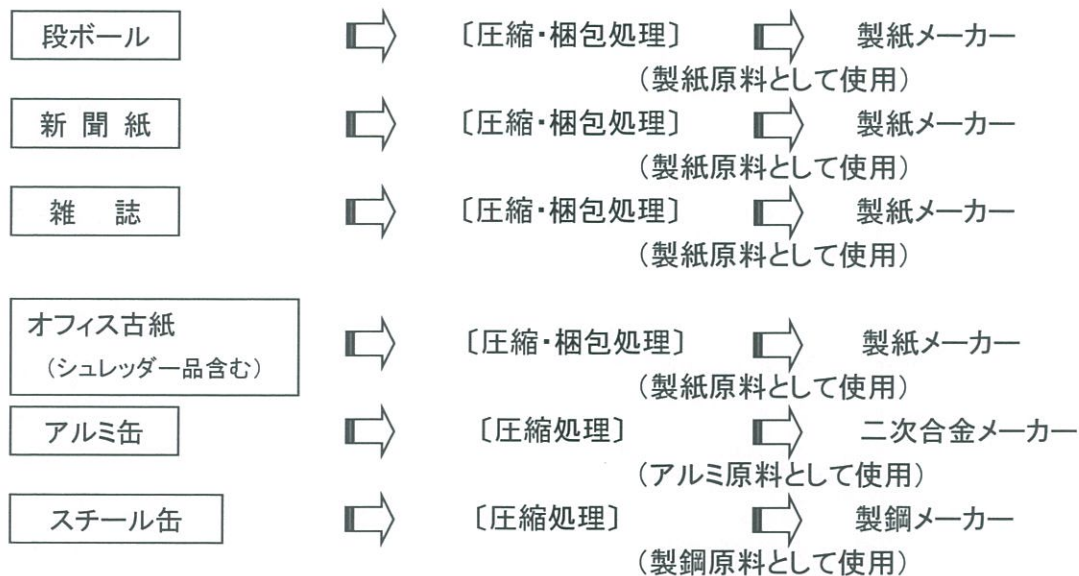
当社から排出される廃棄物の内、段ボール・新聞紙・雑誌・オフィス古紙・アルミ缶・スチール缶に関しては、下記の流れで処理されリサイクル原料に加工されています。

リサイクルの流れ(フロー)

<収集運搬業者>

<中間処理業者>

<最終処分業者>



廃棄物排出場所 .. 当社から排出される廃棄物は決められた場所に分別を行って排出しています。

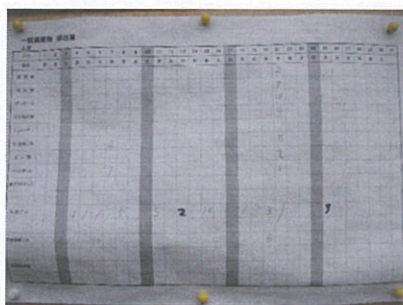
【排出場所光景写真】

(廃棄物排出場所)



(資源ごみ排出場所)

(計量数値記入表)



(可燃ごみ/不燃ごみ排出場所)

(産業廃棄物保管場所表示)



(産業廃棄物排出場所)



(7) 環境コミュニケーション

社内では2階事務所入り口の壁に掲示板(環境活動掲示板)を設置し、活動の経過報告や情報提供を行っています。



(8) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟などの有無

当社では、環境関連法規への違反はありません。なお、環境関連法規に関して過去5年間に於いて関係機関からの指導や指摘などはありませんでした。
また、関連して訴訟等は同様に一切ありませんでした。